

# 高知県での問題は 孤立集落

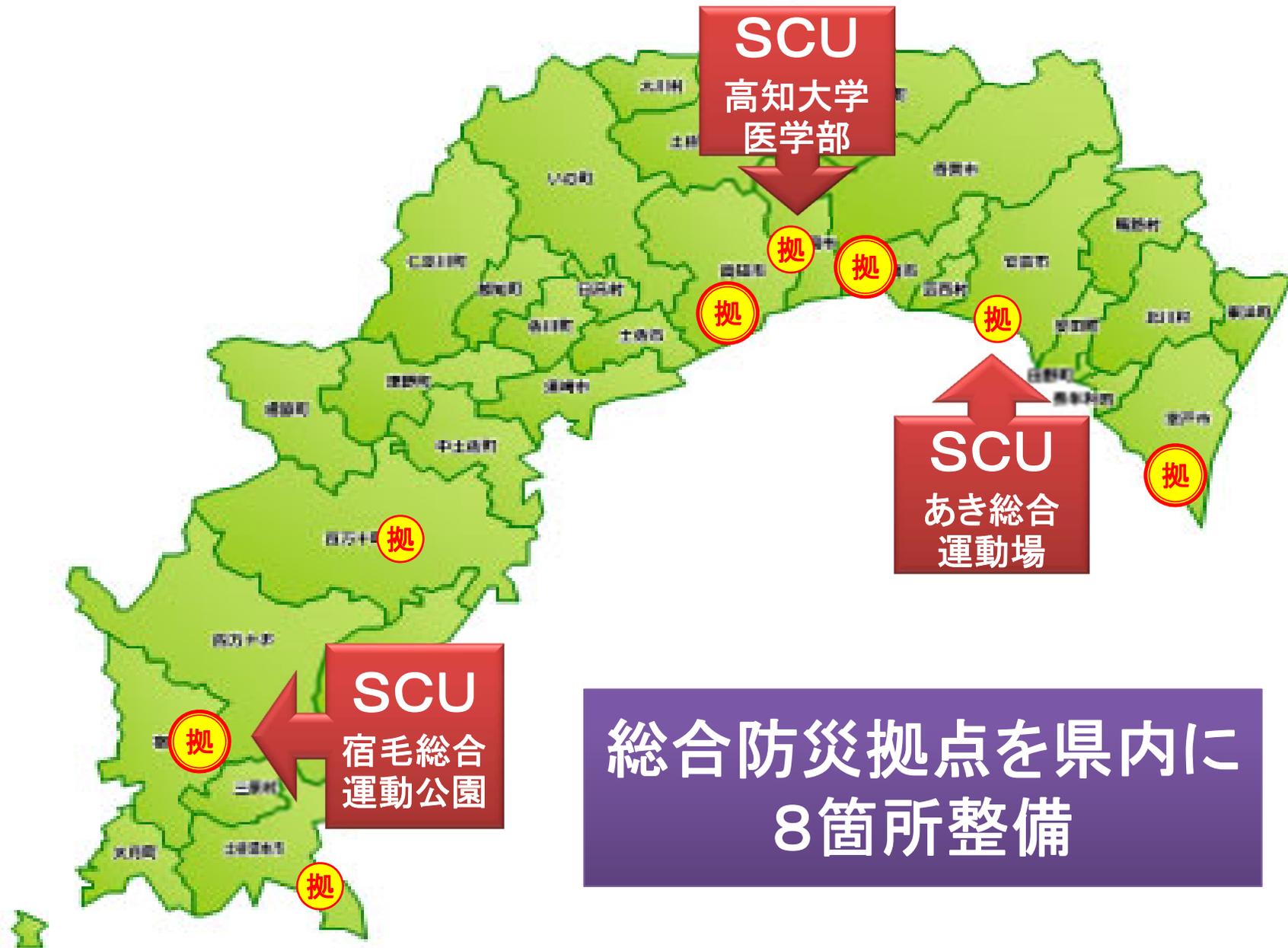
高知赤十字病院

西山謹吾





# 総合防災拠点の整備①



総合防災拠点を県内に  
8箇所整備



# 南海トラフ地震に備えた通信強化のポイント

## 【行政との情報通信機能の強化:別図参照】

### 1 防災行政無線の機能強化

【特徴】災害時においても通信を確実に確保できる、災害に強い自営網

(1) デジタル移動系携帯型無線機を県出先機関に配備(108局)

(2) 無線中継局の非常用電源改修による停電対策(※)

(※) 停電時でも約7日間の運用を確保

### 2 補完

#### ① 衛星携帯電話の整備

危機管理部をはじめ、災害時に迅速な対応が必要な部署において順次整備中

#### ② 衛星通信を利用した可搬型VSATの配備

(県庁・幡多土木事務所・安芸土木事務所)

インターネット×

TEL○

FAX○



## 【医療機関の情報通信機能の強化】

### 1 災害拠点病院の通信機能の強化

(1) 防災行政無線の配備

(2) 衛星携帯電話の貸与



### 2 全病院のEMIS(広域災害救急医療情報システム)

登録 131病院:H27.9.1完了

※入力インターネット経由。使用不可の場合を想定し、紙ベースの様式を県において作成(FAX、電話による口頭伝達、伝令も想定した情報収集)

### 3 病院における複数の通信手段(※)の整備支援

整備率58%(※)衛星携帯電話、アマチュア無線等

上記の強化ポイントが確実に機能するとともに、さらに円滑な通信を確保するために…

## 1 通信回線の強化

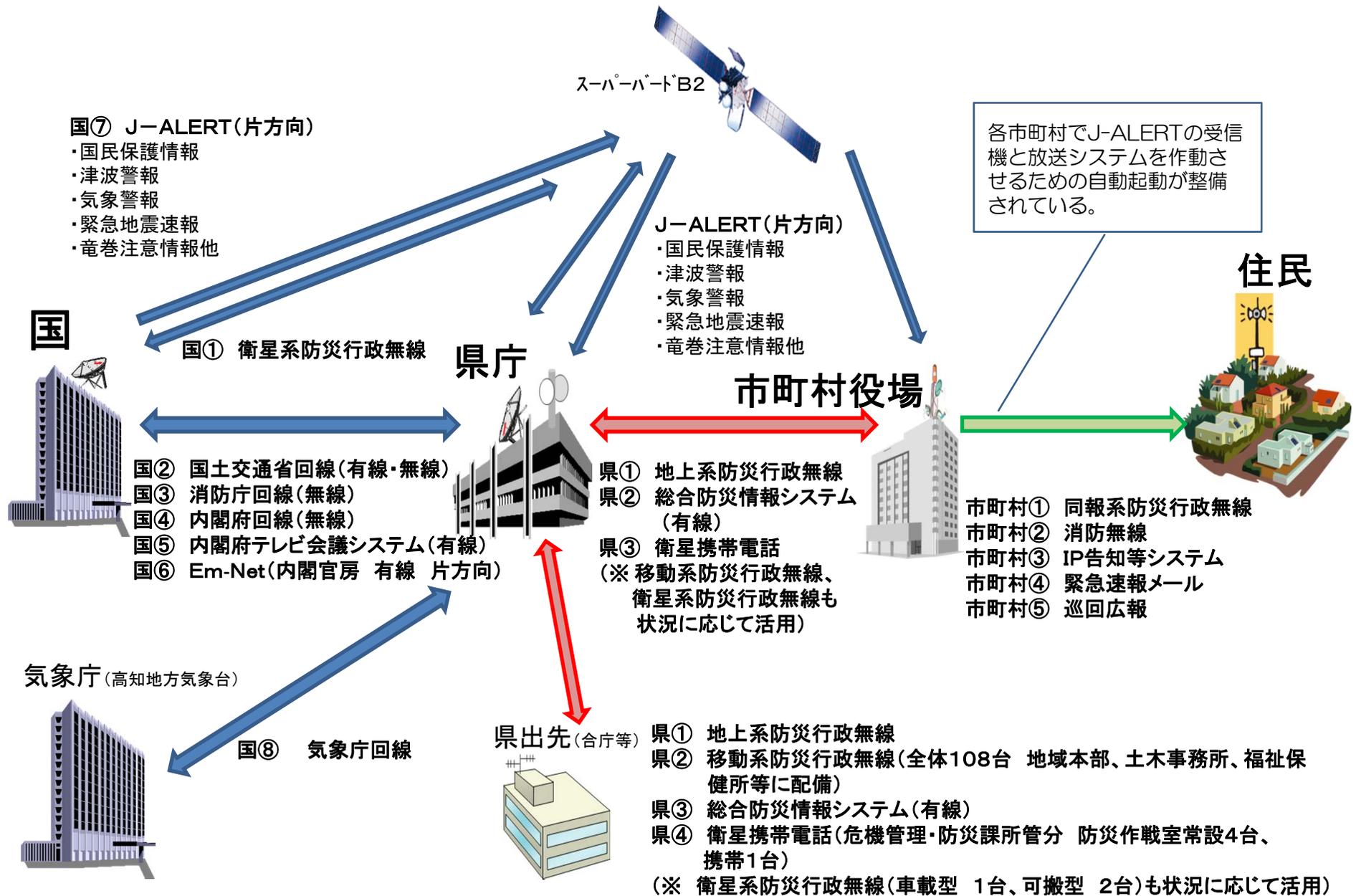
- ・ インターネット、衛星携帯電話の集中による通信不能の回避
- ・ 画像などの容量の大きいデータ通信が可能な回線の確保

## 2 各都道府県によって異なる災害時の情報システムの統一

## 3 通信手段の種別(無線、衛星携帯電話、固定回線・・・)を問わない災害時の通信インフラの構築

## 4 衛星携帯電話の維持コストの軽減

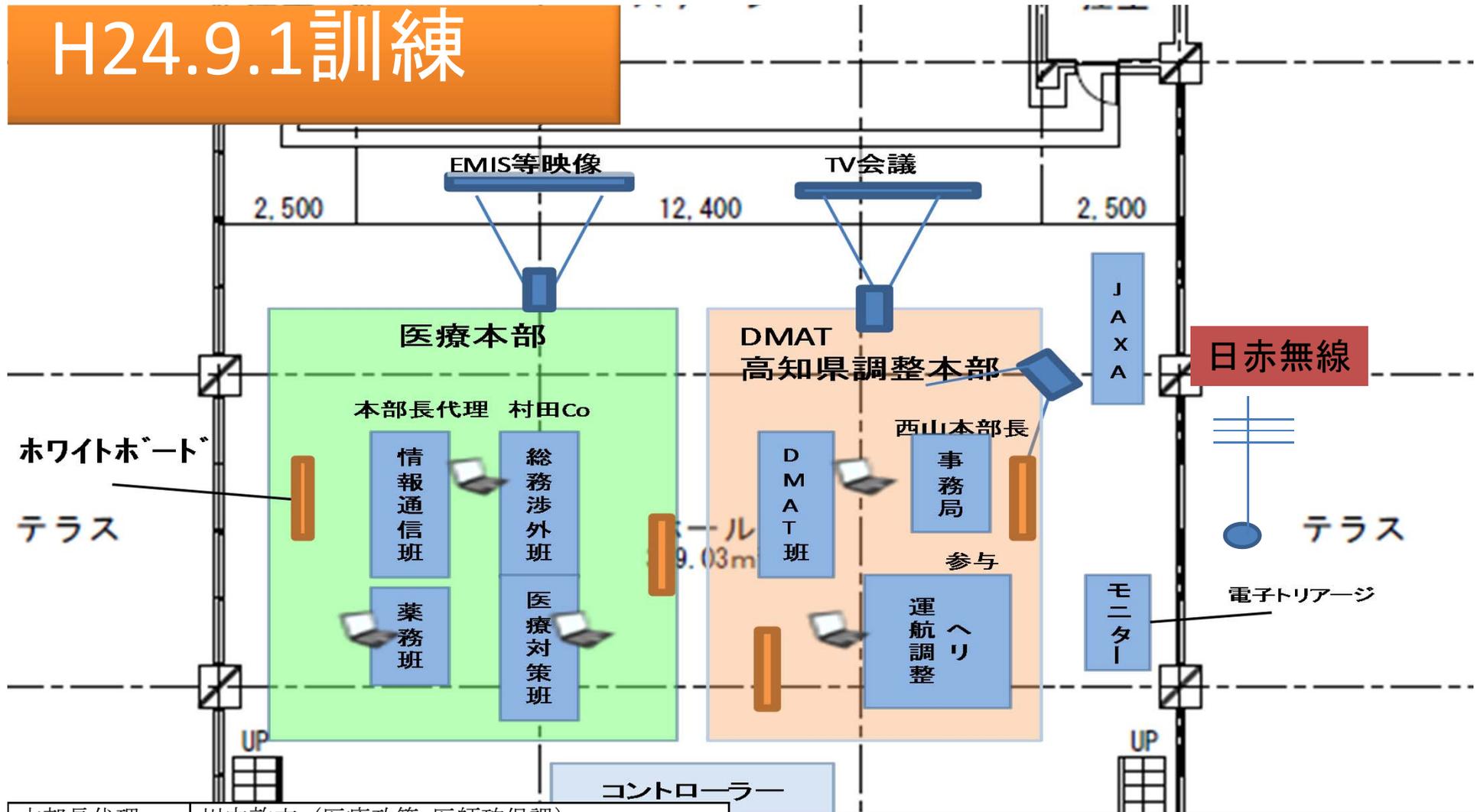
# 高知県における情報伝達体制の現状イメージ図



# H24.9.1訓練



# H24.9.1訓練



本部長代理	川内敦文 (医療政策・医師確保課)
災害医療コーディネータ	村田厚夫. (高知医療センター)
情報通信班	中村、高橋、須藤 (医療政策・医師確保課)
総務渉外班	五島、石本、前田、〔高木〕 (医療政策・医師確保課)、
医療対策班	北添 (消防政策課)
薬事班	浅野、久保田、井上 (医療政策・医師確保課)
	内村 (医事薬務課)
	井上 (医事薬務課)

本部長	西山謹吾 (高知赤十字病院)
事務局	近藤久禎 (DMAT事務局)
(客員事務局員)	石神 猛 (神奈川県)
ドクターヘリ運航調整	木崎輝男 (DMAT事務局)
CS	藤井美香子 (DMAT事務局)
医療本部DMAT班	村田厚夫 (高知医療センター：兼務)
	原田紀樹 (四国航空)
	山崎 (医事薬務課) 石田、安藤、〔久保〕
	政策・医師確保課)

# H24.9.1訓練



# 日赤業務無線

○「日赤無線は予想以上に使える」

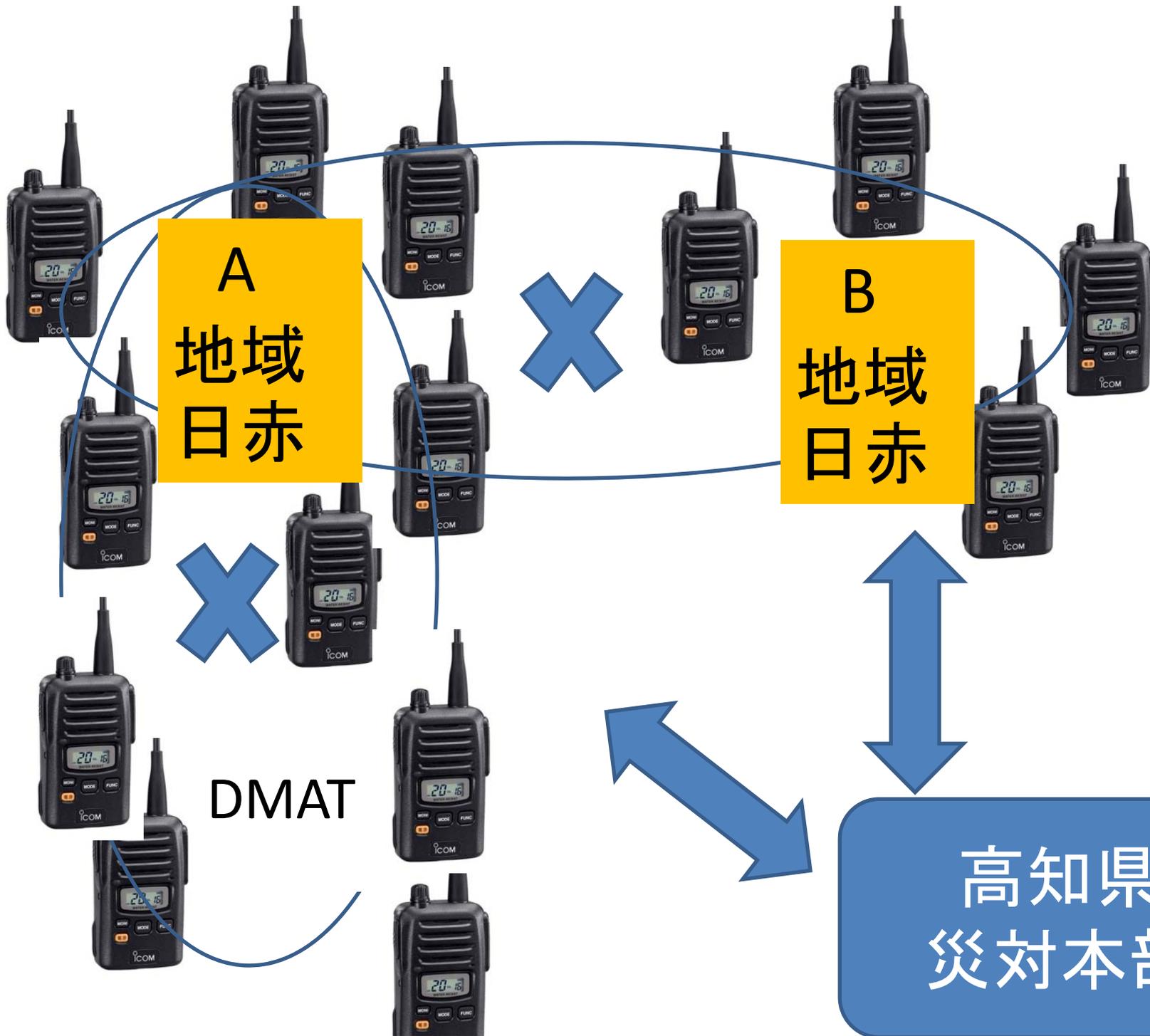
40km離れていても中継局あればOK

▲「しかし、予想以上に飛び過ぎる」ということである。  
(各所で行われるであろう日赤無線の交信を、全部  
まとめて潰してしまうこととなる。)

災害発生当初、ロケーション、電波状況等により、  
「日赤」独自での無線運用とDMAT活動下での日赤  
チームの無線運用がバッティングする恐れがある。  
そのようなケースも視野に入れ、運用に関する事前  
の調整が必要と考える。



高知県  
災对本部



A  
地域  
日赤

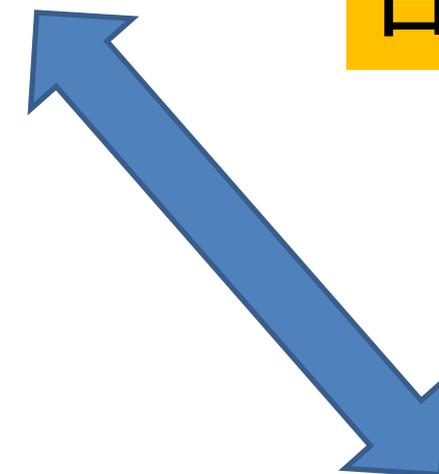
B  
地域  
日赤

X

X

DMAT

高知県  
災对本部



高知県  
災对本部

高知県庁が  
複数団体のトランシーバーを共有できれば



## ルールが必要

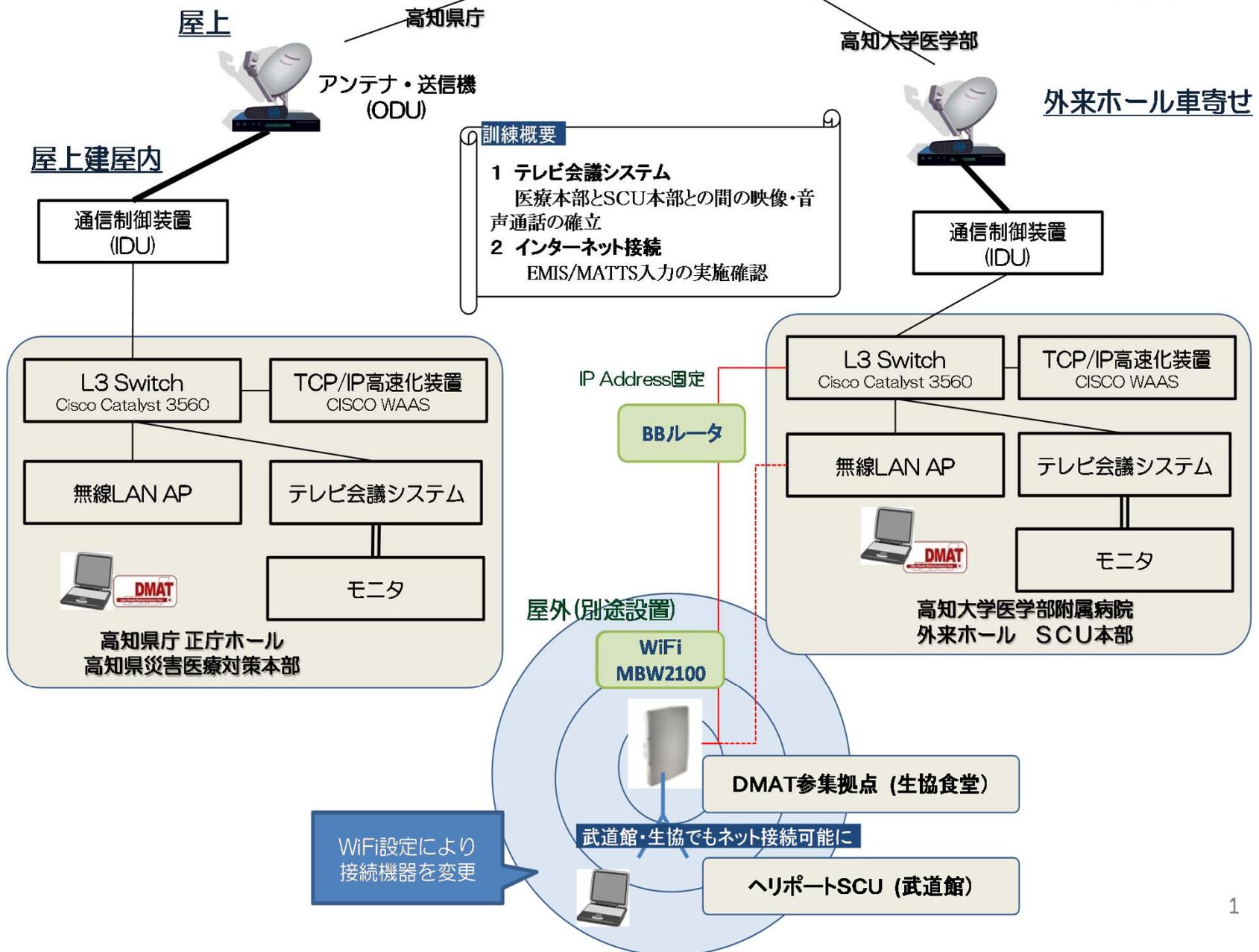
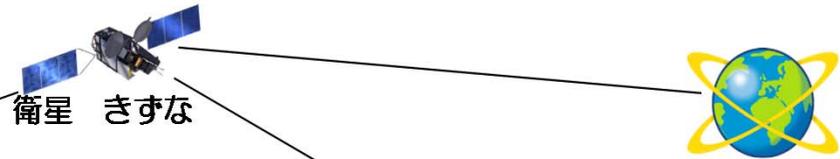
- 情報が多すぎると県災対はパンク
- タイムスケールに沿ったルール
- 初めに挙げるべき情報を決めておく
- 自由に情報を挙げるのではなく 県災対本部から指示があった情報を挙げる など

H24.9.1訓練

「きずな」を  
使ったTV会議

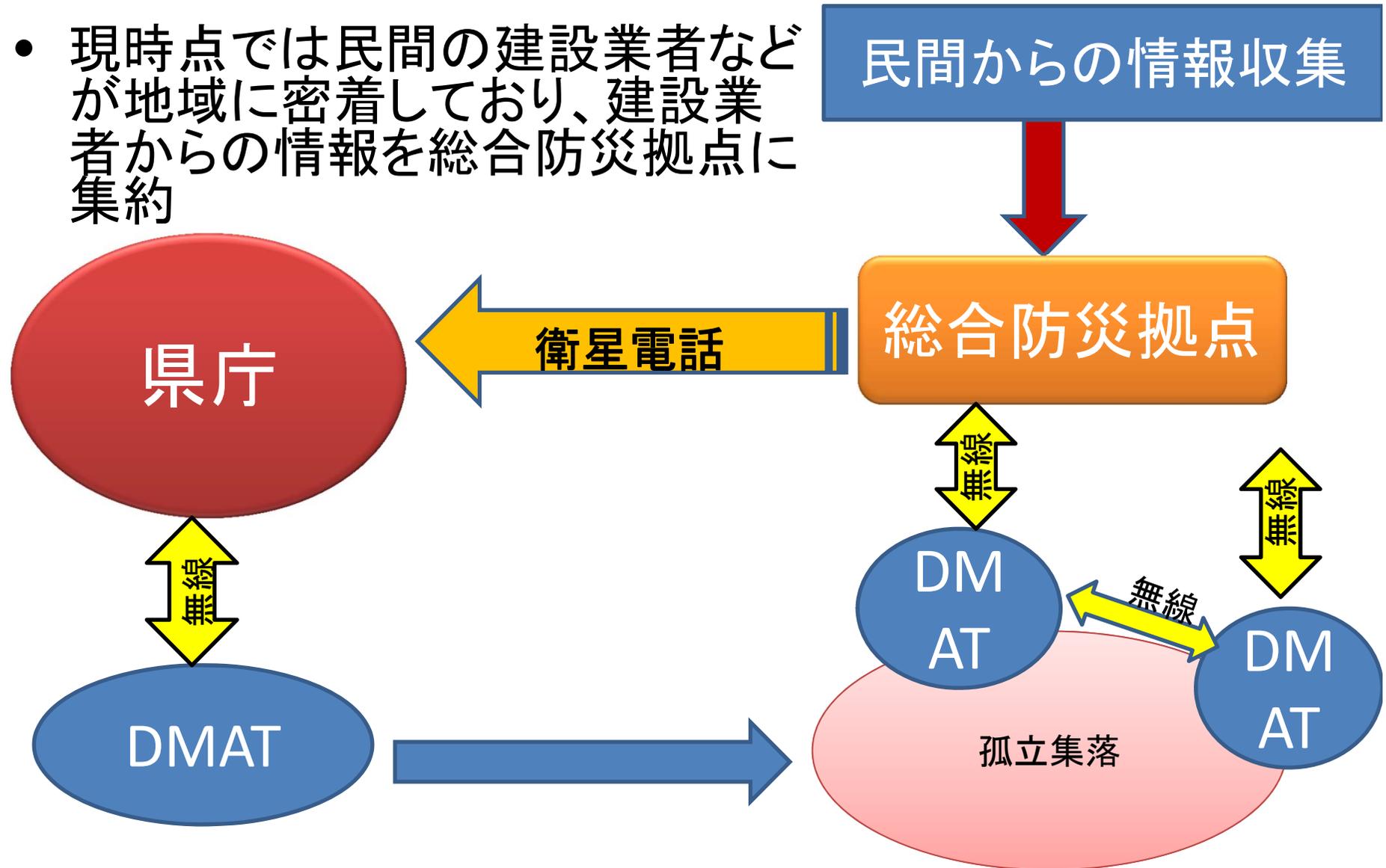


通信衛星きずなを活用した災害時通信訓練の機器イメージ



# 孤立地域の情報収集は？

- 現時点では民間の建設業者などが地域に密着しており、建設業者からの情報を総合防災拠点に集約



# まとめ

道路が寸断される

孤立集落が多数

衛星電話の準備  
(維持費が高い)

民間も活用

情報

総合防災拠点へ

衛星

県庁  
災対本部

団体同士はそれぞれで通話  
県庁災対本部で活動が把握できるように

TV電話は状況がわかり有効  
日赤無線も中継局があれば有効

有事の際には、

**どうぞ、ご支援をよろしく  
お願いいたします。**

